	No. 31 —	1 基本事務事	業名簡	易水道運	営事業		事務事業	名簡易	易水道運営	官事業		公的関与	3 シ	一卜作成日	平成214	年6月10日
	部局名		-		課名		水道課		主務語	長名		森本浩幸	シー	−ト作成者名	古	谷昌寛
	事業区分	○ 1 ソフト?		0	3 経常的事	務事業		5 補助3	金·負担金	∵支援	重 士	運営方法	✓ 1 値	営	□ 3 至	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維			3 内部	管理事務·		他	建舌刀広		-部委託		助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環	境のまちづく	IJ			実施計	画			事業	の開始・終		
	総合計画	基本計画(施	策)(2	2)水道の	整備			0	1 該当		昭和	55 年	~ 平	成 年	□ 期間	設定なし
		主要施策	(2	2)水道施	没の整備			<u> </u>	2 非該当	á	根拠	见法令等	阿波市簡	易水道事業	の設置等に	:関する条例
		対象(誰を、 何を)	伊沢谷	簡易水道加	『 入者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	安全でお	らいしい水を絶	やすこ。	となく、水量	量も確保	したうえで	効率的	りに供給す	ることを目的	りとします。			
PL		たいのか)			设の維持管理											
AN					いますか。(主	なもの)5つまで	•)								
N		① 浄水場、		及び配水管	の維持管理											
	事業の	② 水質検査														
	活動内容	3														
		4														
		5														
		指標名	2	計算式	又は指標設定	理由	単位		平成	19 호	丰度	平成 20	年度	平成 2	年度	最終目標
	数値目標	有収率の向上		有収水	量÷総給水量		%	目標			70		73		75	1
	(事業の目的	イベージバエ		ביייאר ה	E · 心心心 八重		70	実績			72		72			
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で別の111年/							目標								
								実績								
	予算費目	会計			道事業特別会		款				項			目		
				平成	19 年度》		平成	20	年度決		平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円				千円			0 千円			
		県 支 出	金			千円				千円			0 千円			
	直接事業費	地方	債			千円				千円			0 千円			
D		その他特定				千円				千円			0 千円			
0		一般財	源		6,018					千円			751 千円			
		計(A)			6,018					千円			<mark>751</mark> 千円			
		正職員工数:		0.100 人	612	千円	0.100	人	612	千円	0.100 人		<mark>628</mark> 千円			
	人件費(B)															
		臨時·嘱託工数·	経費 (0.000 人		千円	0.000 ,	人		千円	人 000.0		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			6 630	千円			4 040	千円 📙		4	379 壬四			

						ック項目					_	-次評値	5	_	-次評価(の説	明		二次	(評估	Б
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	,	大きい		定供給す [。]]欠です。	るため	には、	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中	中、次年	度以降実	施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある					0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余		0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				[隣自	治体と比較し	, てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために、	事業内容	『が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	(1) O	いえる		持つ家も			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化	など、施	策への貢	献度/	が著しく高いとに	まいえない 。	0	いえな	(v)	いえる	で良質な	生活給水			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	。 施策の	の中で類	[似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	す。				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても	も成果の	向上が期	待て	できない。		0	できな	ι , •	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	すして近		!が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて針	らっている		活に不可性と安定的			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して原	成果があ	まり上が	「って	いないと思う) ₀	0	あまり.	上がってし	ない	要です。	ITC X Æ I	ህ ' ው ነነር	小"王	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	すして相	既ね目標	を達成し	てし	いると思う。		0	概ね遺	を成してい	<u> </u>					•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して-	├分に目	標を達成	えして	こいると思う。		0	十分道	産成してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	ニコスト	トが高い	0				•	高い	0	適当		であるため は厳しい			•	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	ҟのノ宀	^{フハウや}	新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	0	できない	率性は悪	いが、公	共の社	冨祉のた	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	∶成果0	の関係で	、実施手	段等	テを見直す余地	がある。	0	ある	0	ない	の維持す	⁻ る必要が	ありま	ます 。	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法の	の変更な	どにより	コス	スト削減の余地	かある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						<u> </u>	次評	価							=	次評	価				
	評化	西点	必要性		効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
			4 ○ 拡大·充		<u>4 </u>	3 	0	<u> 3 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	工生		<u>4</u> ○ 拡え	<u> </u> 大∙充実	4 │○ 現∜	<u>3</u> 犬維持		<u>3</u> 方法改善	É		A 引委	江华
		う性			<u>玩√</u> 在合/終			<u>万法以告</u> 廃止/休止	〇 民間委託	10寸		○ 縮/		1 1 1 11			<u>万法以表</u> 廃止/休			1)安計	T 寸
A	731	311	○ 111日・1	\(\tau_1 \)	<u>и ш / та</u>	WIDX VC		完 亚/)	欠評価での		_			の相違点	į	
ACTIO								!に費用がかか 注意を要します。		天候	Ê		道統合計	画策定の期	間限が平成	22年	53月31日)で、早急
Ň	년 計	画	引き続き、上	水道との	の統合計	·画を検討	し作	成していきます	0		(c結論を 	出して糸	統合計画の	有無を見と	出して	ください				
		員会 事項																			

	No. 31 —	2 基本事務事	業名配	水給水管	管布部	设替工事	事務事	事業名	配力	K給水管7	午設 替	本工事	公的队	月与 3	シート作	成日	平成21	年6月10日
	部局名		-			課名		直課		主務認			森本浩	‡	シート作り			ī谷昌寛
	事業区分	○ 1 ソフト?				経常的事務				金·負担金			業運営方法		直営			全部委託
	争未色力	○ 2 ハード				施設の維持的	管理 () 6 p	内部管	管理事務		他	末连百刀/		2 一部委		│	補助等
		基本構想(政								実施計	画				業の開		,	
	総合計画	基本計画(施							_	1 該当		平		年 ~	平成	年	☑ 期間	間設定なし
		主要施策	(2	2)水道旅	色設の	整備			0	2 非該当	<u> </u>	根	拠法令等	水道法	5			
		対象(誰を、 何を)	市民(7	水道加入 [。]	者)													
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	タ 安全な	水を割	需要量に応じて	てつくり、多	安定かっ	つ効率	⊠的に供給	けるこ	とを目的	とします。	老朽管をる	市設替える	すること	で漏水対抗	策に努めます。
PL		たいのか)	今年周	き 老朽化	こした酢	記水∙給水管 <i>の</i>	中でも、り	地元の	要望	や緊急を要	更するは	路線から	憂先的に改	放良します。	o			
AN		具体的にどの			ういま	すか。(主な	もの5つ?	まで)										
N		① 配水給水	管の改	良工事														
	事業の	2																
	活動内容	3																
		4																
		5		1														
		指標名	<u> </u>	計算되	式又は	指標設定理	由単位			半成	19 4		半成	20 年度		成 21	年度	最終目標
	数値目標	配水給水管改	良延長	:			m		標			5,500		4,0			3,100	4
	(事業の目的								績			5,606		4,2	01			
	及び活動内 容の達成度								標 積									
	を測る指標)								·限 標									
									11宗 [績									
	予算費目	会 計		水道	事業:	会計	#			的支出		項	1 建設	改良費		目 1	配水施	設 費
	7 77 74			平成	19	年度決算			20	年度決	算	平成	21	年度予算			備考	
		国庫支出	金			19,895 ∓	円			0	千円			0 =	円			
		県 支 出	金			0 ∓	円			0	千円			0 =				
	直接事業費	地 方	債			51,000 千	円			27,000	千円			0 =	円			
D	但按爭未其	その他特定則	す 源			0 f	円			0	千円			0 =	円			
0		一 般 財	源			50,210 千					千円			00,000 ∓				
		計(A)				121,105 千					千円		1	00,000				
		正職員工数:		0.500 人		3,059 ↑	円 0.50	0 人		3,059	千円	0.500	人	3,059 1	円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職																
		臨時·嘱託工数· 業费(Δ+B)	経費	人 000.0		り 124 164 エ		0 人		103 090	千円	0.000	人	0 1				
		- -				1/4 IN4 I	ш			1113 (1911	+ ш			U.S U.SY ==	- -44			

					ック項目					_	-次評	価		_	-次評価(の説明	明		二次	評価	<u> </u>
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少なし	, () 大き	い	安全で安 め必要不			合するた	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない	. 0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向							ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	, てニーズを	0	いる	0	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	:11	いえる	3	耐用年数良するこ				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献	大度 カ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	:l\ (いえる	3	確実に安				0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	۸,	ます。				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の)向上が期	待で	きない。		0	できな	iv C) できる	3					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	配水管のるため、				0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	ちまり上が	って	いないと思う	j 。	0	あまり_	上がって	いない		鋳鉄管に				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	を成して	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分通	達成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当		工事費節 調施工す				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウヤ	5新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	を行ってし	ハます。-	つの	手法とし	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	こ、実施手	段等	を見直す余地	心がある。	0	ある	•	ない		て市道部 も考えてし			信性設	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	С	ない						0	ある	•	ない
						欠評			· •		•					次評					
	評値	西点	必要性 4	有効性	達成度	Ę	効率性	総合記			必要	• • -	4	有効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	·価
	<u>수</u> 1	多の	4	4 実 ┃	<u> 3</u> 比維持		<u>3</u> 方法改善	A ○ 民間委		(大·充	宇	4 ○ 現状	<u>3</u> ₹維持		<u> 3 </u> 方法改善	É		A 『委』	千等
Δ		句性		○ 統合/終			廃止/休止	0 7017/2			<u>○ 据</u> ○ 縮		\bigcirc	統合/終			<u>廃止/休</u>		<u> </u>		<u> </u>
Ĉ			•		•							-	二次	評価での	指摘事項	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
ACTIO			近い将来、想知 す。	こされる南海 は	也震に備え、	、耐原	喪化工法を積析	極的に取り組.	んでい	きま											
ON														もとより、i			直しと水管	橋に	ついても	検討	協議しな
N	وع	革案 実行	本事業は住民の減を目指します		対応してお	り、コ	L事費について	ては、効率的に	こコスト	↑節	いり削り	莨化 平	U기미	上を図って	(1:20)						
		画	-																		
		員会 事項																			

	No. 31 —	3 基本事務事	業名水流	原開発事業	業			原開発事業		公的関与	3 シ	一卜作成日		₹6月10日
	部局名		-		課名	水道認	-	主務課長		森本浩幸	シー	-卜作成者名		谷昌寛
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金・負担金・支		運営方法	」 1 直			部委託
	争未区力	② 2 ハード			4 施設の維持管	理 〇	6 内部管	管理事務・その)他 The state of the state of	连百万么		·部委託		亅
					竟のまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当	平月			成 23 年	□ 期間	設定なし
		主要施策	(2))水道施設	との整備		0	2 非該当	根	処法令等 才	道法			
		対象(誰を、 何を)	市民(上	水道加入	者:市場町地区)									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	冬場に水	量が確保できなかっ	ったことがる	あり、今後	後、水需要に対	応できるよう	が井戸を新設した	水量を確	[保します。		
PL		たいのか)			さく井工事及び既存			く管を布設します	す。					
AN				舌動を行し	ゝますか。(主なも	の5つまで	で)							
N		① 浅井戸さ												
	事業の	② 導水管布	設工事											
	活動内容	3												
		4												
		5] = <i>bb</i> ; _b; =		11 I		T = 10	<i>F</i>		- r 		F #	
		指標名	<u> </u>	計算式	スは指標設定理由	単位		平成 19	年 度	平成 20 年	-	平成 21		最終目標
	数値目標	導水管布設延	長	DCIP ϕ 30	00 L=1,300m	m	目標 実績						1300	
	(事業の目的 及び活動内										-			
	容の達成度					}								
	を測る指標)						 目標							
						}	実績							
	予算費目	会 計		水道事	業会計	款		的支出	項	1 建設改良	·····································	目 4	取水施設	投費
			4		9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 年度	予算		備考	
		国庫支出	金		0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 千円		60,00	0 千円			
D	旦汝尹未良	その他特定原	財源		0 千円			0 千円			0 千円			
0		一 般 財	源		0 千円			4,288 千円			0 千円			
		計(A)			0 千円			4,288 千円			0 千円			
		正職員工数·		.100 人	612 千円	0.100	人	612 千円	0.100	61	<mark>2</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
		臨時·嘱託工数·	·経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円			0 千円			
	全体事	業費(A+B)			612 千円			4,900 千円		80,61	2 千円			

				チ	ェック項目						次評	西		_	-次評価(の説	明		二次	(評価	ī
		1.					が確保できる等 <pre> ど響は大きくなる </pre>		0	少ない	_	大きし	l,		当初より ひため遂行			0	少ない		大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降等	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手	没、力	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみら ごスとなって		丘隣自	自治体と比較し	ンてニーズを -	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が必	がずしも適切とい	まいえない 。	0	いえなし	۰, 🔘	いえる	3		送続するこ。 引待できま		成果が	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	ر. (いえる	3) (U 10)	110 000	, 0		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复し <i>†</i>	と事務事業が存	存在する。	0	する	0	しなし	,١					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成果	の向上が期	期待で	できない。		0	できなし	۰, 🌘	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		ね、早期を進めます		央できる	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上	こがってし	いない		ひノチベ	e Ævion :	•		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	ずして	ていると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	•	適当			考慮し、ジラインとして			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	制度を	を活用できる。		0	できる	0	できた	ない	確保が重		(0)/]	()E)(V)	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	ទを見直す余 均	也がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	リコフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						·次評								•	=	次評		•			
	評値	西点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	価		必要	性	4	勃性	達成	芰	効率	生	総	合評	<u>·</u> 価
	今彳	を の		<mark>│ 4</mark> 寒	<u> 3 </u> 状維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	壬等	(大•充:	実		<u>3</u> 犬維持	(<u> 3 </u> 方法改善	<u></u>		A 引委記	 £等
A		句性	○縮小		冬期設定	O		O POINT XI)縮·		\bigcirc	統合/終		0	廃止/休		0 201		
C				•								-	二次	評価での)指摘事]	頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO		面の!題	場所は違えど	「同じ水系であ	るため、水	質等	には十分留意	しなければなり	ませ		ī場町(の水量	:不足	と解消す	る施設で	あるた	が、実施に	あたり	りいろいろ	な方	策を検討
N	と 計	革案 実行 ·画	将来、八幡簡 大を図ります。		することと	 :なる;	ため、それに見	合う規模及び向	能力の	の拡	て総合	的なは	改善 :	ができるよ	うに努力	してヿ	っさい。				
		員会 j事項																			

	No. 31 —	4 基本事務事	業名 施	設維持管	理業務	=	事務事業	€名 施言	设維持管理	里業務	i	公的関与	3 >	ノート作成日	平成21年	丰6月10日
	部局名		-		課名		水道課	₽	主務語	長名	末	本浩幸	シ	ート作成者名	古	谷昌寛
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事				金·負担金			運営方法		直営	□ 3 全	≧部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維			6 内部	管理事務·		也	医舌刀丛	1	一部委託		亅
			-		境のまちづく	J			実施計	画				美の開始・終		
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平成	年		^Z 成 年	E 🕢 期間	設定なし
		主要施策	(2	2)水道施	設の整備			O	2 非該当	á	根拠	法令等	水道法			
		対象(誰を、 何を)	市民(上	上水道加入	者)											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	安全なが	kを需要量に応	じてつぐ	くり、安定	!かつ効≌	率的に供給	するこ	とを目的と	 します。				
PL		たいのか)	今年度	水道施記	设の維持管理											
AN					いますか。(主	なもの)5つまて	્)								
N		① 水源地の														
	事業の	② 送水・配														
	活動内容	③ 機械設備	の更新													
		4														
		5														
		指標名			又は指標設定	理由	単位		平成	19 年		平成 20		平成 2		最終目標
	数値目標	水源地•送水	记水管σ	り機械設備	#の点検		回	目標			週1回		毎週1回		毎週1回	毎日1回
	(ナベッロロ)	点検回数						実績		2週間	に1回	2週	間に1回			
	及び活動内 容の達成度						- 1	目標								
	みの達成度 を測る指標)							実績								
							-	目標						<u> </u>		
	予算費目	会計		かばす	業会計		± <i>l</i> -r	実績	┃ 直事業費月	Ħ	TE 4	営業費用	Ħ			
	了异貝口	本 引	1 7		** 云 司 19 年度決	1 笛 丨	款 平成	1 水河 20	年度決		項 1 平成		_日 度予算		備考	
		国庫支出		一八		千円	十八	20		开 千円	十八	<u> </u>	及了弃 0 千円	1	III つ	
		県支出	金			千円				千円			0 千円			
		地方	債			千円				千円			0 千円			
D	直接事業費	その他特定則				千円				千円			0 千円	_		
O		一般財	源		94,329	千円				千円		94,		⊣		
		計(A)	****		94,329				•	千円		94,		-		
		正職員工数:	経費 2	2.000 人		千円	2.000	人	<u> </u>		2.000 人		237 千円	-		
	人件費(B)				, , ,		•									
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	臨時·嘱託工数·		0.000 人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000 人	- Indiana and a same	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			106 566	千円			102 155	千円		106	548	īl .		

					ニック項目					_	次評価	Ī	_	-次評価の	の説	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しな主体があり、				「確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きい		定した水 可欠です		合するた	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある					0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない 。	0	いえなし	\ (いえる	効率的、	経済的に			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、	施策への貢献	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	\ (いえる	必要とな			.EO%	0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	施策の中で舞	類似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	きない。		0	できなし	١ •	できる					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣	っている	地震など	の災害に切な施設の			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果がな	あまり上が	うて	いないと思う	; 。	•	あまり上	がってい	ない		かなければ			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してい	<u></u> る					•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高し	,۱۰				0	高い	•	適当	施設の機	能・能力を			0	高い	•	適当
	効 率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	できない	ていきま		旦寸(711/42	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある 。	0	ある	•	ない					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更が	などにより	コス	く ト削減の余地	しがある。	•	ある	0	ない					•	ある	0	ない
					—;	次評	価							=	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成原	支	効率性	総合評	価		必要性	生	有効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	·価
	<u></u>	を の	4 ○ 拡大·充	4 実 ┃	<u> 2</u> 犬維持	0	2 方法改善	○ 民間委	千笙		4	<u> </u> 、·充実	4 ┃○ 現状	<u>3</u> *維持		<u>l</u> 方法改善	É		<u>B</u>]委記	チング ・手
Α		句性	○ 縮小	○ 統合/約		0	廃止/休止	〇 民间安日) 縮小		統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休		O KIF	1340	
C				0 1000							- 114		マ評価での)			の相違点	į	
ACTIO			施設の耐震化をしなければな		機械設備の	の更	新及び送水∙酛	2水方法の見直	直しの:	長			:思いますの						ジョン	ノ、水道
Ň	وع	革案 と行 画	安全で安定した にレベルの高い					に良好に維持	il, à	ら	設施設	耐震化記	十画をもとに	に事業の拮	推進を	・図ってくか	ごさい	0		
		i ●会 i事項																		

	No. 31 —	5 基本事務事	業名配	水給水管	維持管理業務	S S	事務事業	名 配力	K給水管維	持管理		公的関与	3	ノート作成日	平成21年	F6月10日
	部局名		_		課名		水道課		主務課			本浩幸	シ	一卜作成者名	古	谷昌寛
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事				金•負担金			置営方法		直営		部委託
	尹未匹刀	○ 2 ハード			4 施設の維			5 内部管	宫理事務∙∙		中本 2	医舌刀丛	_	一部委託		亅
		基本構想(政	(策) 3.	. 美しい環	境のまちづく	IJ			実施計画	画			事為	業の開始∙終了	,	
	総合計画	基本計画(施	策)(2	2)水道の	整備			0	1 該当		平成	年	~ ₹	F成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2	2)水道施	設の整備			()	2 非該当		根拠	法令等	水道法			
		対象(誰を、 何を)	市民(2	水道加入者	-)											
		目的(どうい う状態にし	最終的	的 生活給ス	水に支障をきた	すことが	がないよう	、漏水対	対策及び有り	収率の	向上に努め	ります。				
PL		たいのか)	今年周	要 突発的	な漏水について	は、早	期に対処し	し、深夜	流量の多い	地区を	を重点的に	漏水調査・	修理を行	います。		
A				活動を行	いますか。(主	こなもの)5つまで	•)								
N		① 漏水調査														
	事業の	② 漏水修理	<u> </u>													
	活動内容	③ 集中監視	装置の	運転記録(の管理											
		4														
		5														
		指標名		計算式	又は指標設定	理由	単位		平成	19 年		平成 20	年度	平成 21		最終目標
	数値目標	有収率の向上		有収水	量÷総給水量		%	目標			70		72		74	1
	(事業の目的	H-IX071-1	•	ביויאים	主:心心心		/ \$	実績			66.8		68.5	5		
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で 別の日宗/							目標								
				1 53/-	= NV A = 1			実績								
	予算費目	会計			『業会計		款				項			目	,,,,	
				平成	19 年度》		平成	20	年度決算		平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			0 =				0 千円			
		県 支 出	金			千円			0 =				0 千円	_		
	直接事業費	地方	債			千円			0 =				0 千円			
D		その他特定				千円			0 =				0 千円			
0		一般財	源		72,085					千円			900 千円			
		計(A)			72,085				<u> </u>	f円			<mark>900</mark> 千円	_		
		正職員工数:		2.000 人	12,237	千円	2.000	٨	12,237 =	f円 2	2.000 人	12,	<mark>237</mark> 千円	3		
	人件費(B)	臨時·嘱託職			1											
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	社 質	0.000 人	84 322	千円	0.000 ,	<u>۸ </u>	0 = 80.834 =		0.000 人	77	0 千円 137 壬円	_		
	干加事	未有(A十月)			84 322	千円			8U 834 =	⊢⊬I I		- //	13/ +H	41		

					ェック項目					_	次評価	5	_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	i i
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きい		: 定した水: 可欠です		合するた	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次	年度以降第	€施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある					0	ない	•	ある
	性						法等の改善の余		0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート			「隣自	目治体と比較し	, てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を顕	実現するために	こ、事業内容	字が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	۱ (o	いえる	事業の成は、必要	果を実現です。	するカ	こめに	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	١	いえる	1000				0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	=事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が其	明待で	ごきない。		0	できなし	١	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて劣	っている	現状に満に努めま	i足せず、 さ	有収率	率の向上	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果が	あまり上か	べって	いないと思う	, _°	0	あまり上	がってい	ない	10300	· 7 o			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		•	概ね達	成してい	- る					•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成		こいると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高	い。				0	高い	0	適当		かさせる。 後能低下に			0	高い	•	適当
	効 率	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	•	できない			~ ∪ x	13 - 7 13 -	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	手を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更	などにより	ノコフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					_	次評	価						1	Ξ	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	-価
	<u>수</u> 1	後の		<u> 4</u> 宝 ● 現	<u> 3 </u> 状維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙		<u>4</u>) 拡け	L 大・充実	4 ┃○ 現状	<u>3</u> 		<u> 3 </u> 方法改善	É		A 『委記	千生
Δ		句性	○ 縮小		<u></u> 終期設定	0	廃止/休止	O EVINI ST)縮기		統合/終			<u>////////////////////////////////////</u>		O EGIF		
Ĉ				•								二次	マ評価での	指摘事項	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
ACTIO			大きい漏水に 地形等を十分				が起こる恐れか ます。	ぶあることから、	交通	全			でが多いが							
N	وع	革案 実行 ·画	早期に対応でため、今後に				化されており、	住民のニーズ	に応え	える	いくたる	め、エリア	を決定して	(年次的な	実施	をする必要	要があ	あると考え	. 5 1	ます。
		員会 事項																		